
願い事

mami.co.

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

願い事

【Nコード】

N5731E

【作者名】

mami.cco.

【あらすじ】

ずっと田舎に住んでいた女の子。付き合いだした彼に呼ばれ東京で暮らすことに。今までとまったく違う世界。都会での生活の戸惑い、彼との生活、そして……………彼の表の姿……………そう、彼は……………芸能人。

夢見たことが現実になった…

私は東京に引っ越した。

生まれてからずっと暮らしてた田舎を離れ…

都内のマンションの7階…

広いなあ。いつもこんなに広い部屋に一人でいたのだろうか？

だから犬飼い始めたのかな？？

隣の部屋にいるチワワを見に行くと、ウルウルとした目でこちらを見ている。

誰？と言わんばかりの目…

「私も今日からここに住むの。ヨロシクね！確か、名前なんだった
っけ？」

『チーズ。』

後ろから突然声がかかる。

「そうだ！チーズ、ヨロシクね！」

後ろにいた彼はゲージを開けチーズを私へ差し出す。

「ちょっと震えてる（笑）」

『大丈夫だよ。すぐ慣れる。俺より一緒にいる時間長くなるから。』

「そうだね！」

『疲れたでしょ？食事して少し休みなよ？』

「そうだね。」

『来たばっかなのにケータリングでごめんな。』

「全然いいよ！それにこれ、すごいおいしい！」

彼は申し訳なさそうだが、私はおいしくてそんなの気にしてなかった。

これからいろんな事知ってくんだよなあ。

不安もあるけど楽しみだな。それにしてもいつもこんなおいしいの食べてるのかなあ。

「ケータリングはいつもこの？」

ケータリングの箱を指差して言った。

『だいたいここかなあ。あんまり外出れないし。』

そう、彼はあんまり多く外に出歩かない。
出たくないわけではない。

「おいしいからいいけど、毎日だと飽きちゃわない?」

『正直、もう飽きたよ。』

「そっかあ。」

『でもこれからはお前がいるからな。俺、料理苦手だし作ってくれたらうれしい。』

「・・・」

『まあ、お前も実家だったもんな。興味なかったらいいんだよ。』

「私、あんまりやったことないけど、作るよ!おいしいの作る!」

『おう！』

そんな会話をしながらごはんを食べ、少し休むことにした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5731e/>

願い事

2010年12月10日02時30分発行